

かさ比重測定器


JIS K - 7365

(ISO-60)

▶ 取扱説明書

プラスチックー規定漏斗から注ぐことが
できる材料の見掛け密度の求め方

Plastics—Determination of apparent density of material that
can be poured from a specified funnel

 筒井理化学器械株式会社

〒110-0003

東京都台東区根岸1丁目1番31号

Tel: 03-3845-2011

Fax: 03-3842-5852

sales@e-tsutsui.com

<http://www.e-tsutsui.com/>

◇ 試験方法

1. 【適用範囲】

この規格は、規定漏斗から注ぐことができるばらばら（粉状またはか粒状）の材料の見掛け密度、すなわち単位体積当たりの質量の求め方を規定する。

備考 規定漏斗から注ぐことができないばらばら成形材料の見掛け密度の求め方は、ISO 61 : 1976 を参照。

2. 【装置】

- 2.1 はかり はかり0.1gの桁まではかることのできるもの。
- 2.2 シリンダー(受器) 体積100ml±0.5ml、内径45mm±5mmの内面を滑らかに仕上げた金属で製作してもよい。
- 2.3 漏斗 下図に示す形状および寸法の、下部開口部にダンパーをつけたもの。

3. 【手順】

3.1 漏斗を、下部開口部がシリンダー(受器)の上20mm～30mmになるように、かつ、それと軸が一致するように、垂直に保持する。試験に先立って粉状又はか粒状材料試験をよく混合する。漏斗の下部開口部のダンパーを閉じ、その中に粉状又はか粒状の材料110ml～120mlを入れる。

3.2 速やかにダンパーを引き抜き、材料を受器の中に流下させる。熱硬化性成形材料は、必要に応じ棒で材料をほぐし、流れやすくしてもよい。静電気のために材料が流下しない場合には、少量のガンマ・アルミナ(1)、カーボンブラック(数%)、又はエタノール(数ml)を添加して、試験をやり直すのがよい。受器が一杯になったら、受器から盛り上がった材料を直線上の板ですり落とす。

はかりを用いて、受器の内容物の質量を0.1gの桁まではかる。

3.3 試験する成形材料試験について、2回の測定を行う。

(1) 例えば、デグサアルミナP110C1。

4. 【結果の表示】

試験した材料の見掛け密度(単位:g/ml)は、次の式で計算する。

$$m/V$$

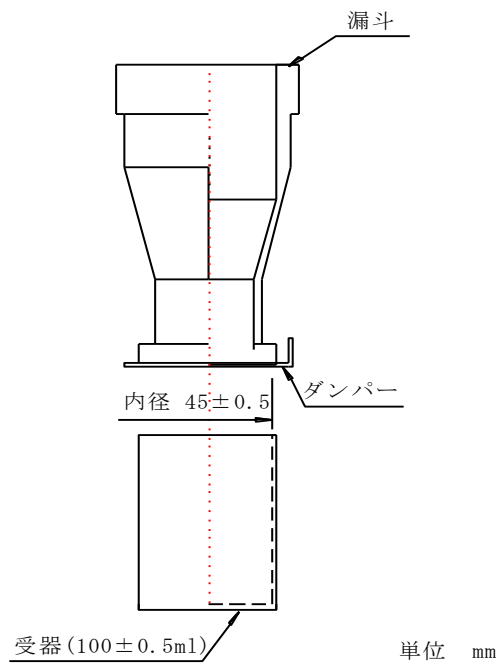
ここに、
 m : 受器の内容物の質量(g)
 V : 受器の体積(ml) (すなわち、100)

2回の測定結果の算術平均値を結果とする。

5. 試験報告には、次の事項を含んでいなければならない。

- a) JIS規格番号
- b) 試験材料を特定する事項
- c) 個人データ及び平均値
- d) 帯電防止剤を使用した場合は、その種類と添加量

(日本工業規格 JIS K-7365 プラスチックー規定漏斗から注ぐことができる材料の見掛け密度の求め方より抜粋)



◇ 保管の仕方

保管には、湿気・異物、また外傷などを防止するための保護を行ってください。

本器を綺麗に清掃し、屋内の風通しのよい、直射日光を受けず、激しい気温変化のない場所に保管してください。

温度の高い場所に保管すると気温が低下したような場合に金属表面に結露が生じ、破損の原因となります。

保管中の故障が生じても弊社では一切の責任は負いません。予めご理解のうえ大切に保管ください。

◇ 廃棄について

廃棄するときは専門の廃棄処理業者に依頼してください。

◇ お問い合わせ

校正依頼・部品の購入・修理依頼を希望される場合は、事前にFAXまたはお電話にてご連絡の上、次の送付先まで商品をお送りください。破損が酷い場合には修理をお断りすることもございますので予めご了承ください。

再校正・修理依頼品は梱包材等に包んでダンボール箱等に入れ、破損しないようご注意くださいのうえお送りください。

お送りいただく場合の送料、梱包費は、お客様のご負担となります。

■ お問い合わせ・送付先

筒井理化学器械株式会社

TEL 03-3845-2011

〒110-0003 東京都台東区根岸1丁目1番31号

FAX 03-3842-5852